

中学校社会科における 思考力育成を目指した 単元計画フォーマットの開発と評価

— マルザーノ・タキノミーの「認知システム」に着目して —

学籍番号 169978

氏名 椿 いずみ

大学院主指導教員 寺嶋 浩介

1. 研究の背景と目的

「社会科は暗記科目」というイメージを持っている人は多い。この課題を克服するためには、語句や事象について暗記するだけでは解決できないような問題を提示し、「どのような資料を見れば良いのか」や「どういう手順で考えれば良いのか」などの思考力を身に付けさせる必要がある。また、教育現場の課題やこれからの社会で生きていくための能力を育成するためには、問題に対応するための方法や解決の仕方、自ら進んで考えようとする姿勢を身に付けさせる必要がある。これらの基本となるのは、「どういう手順で考えれば良いのか」や「何をすべきなのか」などについて考えられるような「思考力」である。以上のことから、本研究は「思考力」を軸に筆者が作成した単元計画フォーマットに基づいた授業づくりとその評価を行うことを目的としている。単元計画フォーマットは、R. J. マルザーノによる教育目標分類学の「認知システム」を参考に作成し、活用することで新任教師や多忙な教師でも授業設計をスムーズに行えるようにすることを目指した。

2. 現状と研究の手立て

本研究の対象は、中学1年生（40名×2クラス）と中学校2年生（40名×2クラス）である。授業内容は社会科の地理的分野で、単元は「オセアニア州」と「中国・四国地方」の実践を例とする。研究全体の流れは、「①フォーマット開発前に授業を実施する（本稿で取り上げるのはオセアニア州と中国・四国地方の実践）。」、「②①で実践した授業の成果と課題を踏まえてフォーマットを開発する。」、「③フォーマット開発後に授業を実施する。」、「④フォーマット開発前後の授業を比較し、フォーマットの効果を見る。」、「⑤フォーマットを使用する際の留意点について説明する。」である。

3. フォーマットの開発

フォーマットを開発する前の授業実践では、思考力の育成を目指すにあたり、思考力の成果をみることや、評価の根拠を提示することの難しさが分かった。それを踏まえて、フォーマットでは、評価することが難しい目標を認知システムに落とし込んで行動目標として表せるようにした。

実際に使用したフォーマットは、図1の通りである。フォーマットを活用しながら、次の手順で授業を設計することで具体的な計画案を設計することができる。9つの手順は「①指導要領の中で授業内容にあたる部分を読みポイントを押さえる」、「②教科書を読み重要な語句や習得すべき内容を確認する」、「③単元全体の目標を決める」、「④各時間の目標を決める」、「⑤認知システムの表に従って目標を整理する」、「⑥評価の方法を決める」、「⑦単元に関わる内容の文献や資料を読みフォーマットに書き出し課題案を複数出す」、「⑧最終課題(授業の軸となる課題)を決める」、

「⑨単元計画をまとめる」である。

これまでの（筆者による）単元計画の流れと異なる点は、特に⑤にあたる部分である。また、⑦の場面で様々な文献を参考に課題案を複数出すことで、これまでは教科書を参考に考えた課題しか提示できなかったのを、複数の課題から生徒の実態や環境等に合わせた課題を選ぶことでより広い視点からの課題が提示できるようになることが期待される。これらのことを踏まえて、思考力を育成した授業の単元計画を設計する際にフォーマットを活用することができる。

4. フォーマット開発後の授業

フォーマット開発後の授業は、「①指導要領の中で授業内容にあたる部分を読みポイントを押さえる」、「②教科書を読み重要な語句や習得すべき内容を確認する」、「③単元全体の目標を決める」、「④各時間の目標を決める」、「⑤認知システムの表に従って目標を整理する」、「⑥評価の方法を決める」、「⑦単元に関わる内容の文献や資料を読みフォーマットに書き出し課題案を複数出す」、「⑧最終課題(授業の軸となる課題)を決める」、「⑨単元計画をまとめる」、という流れで授業を設計した。

5. 結論（課題と改善点）

フォーマット開発前後の授業を比較した結果、フォーマットの改善点として、フォーマットの項目に「(1)単元内容に関わる文献だけでなく、授業の課題に関する文献などについても記述する欄」「(2)フォーマットに授業の課題（『知識の活用』にあたる課題）に関する文献についても記述する欄」「(3)『知識の活用』にあたる課題とその評価ができるような欄」「(4)生徒観と教材を結びつけて記入できる欄」という4つの追加点と、「指導要領（最低限押さえるべき内容）」について記述できるようにする必要があること、目標と単元目標の記述欄の位置関係を目標設定のあとに単元目標が決められるようにする必要があることが分かった。

社会科単元計画書 []分野		授業書[]																																																																																													
<table border="1"> <tr> <td>学校名</td> <td>中学校</td> <td>学年</td> <td>組</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>実施期間</td> <td colspan="4">年 月 日 ~ 年 月 日 <計 時間></td> </tr> <tr> <td>単元名</td> <td colspan="4"> </td> </tr> <tr> <td>生徒観</td> <td colspan="4"> </td> </tr> <tr> <td>教材観</td> <td colspan="4"> </td> </tr> <tr> <td>指導観</td> <td colspan="4"> </td> </tr> <tr> <td>学習指導要領 解説</td> <td colspan="4"> </td> </tr> <tr> <td>留意事項</td> <td colspan="4"> </td> </tr> <tr> <td>単元の目標</td> <td colspan="4"> </td> </tr> <tr> <td>採用教材・文献</td> <td colspan="4"> </td> </tr> </table>	学校名	中学校	学年	組	名	実施期間	年 月 日 ~ 年 月 日 <計 時間>				単元名					生徒観					教材観					指導観					学習指導要領 解説					留意事項					単元の目標					採用教材・文献					<table border="1"> <tr> <td>課題案</td> <td colspan="3"> </td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>知識・技能</td> <td>思考力・判断力・表現力等</td> <td>主体的に学習に取り組む態度</td> </tr> <tr> <td>認知システム</td> <td>①取り出し</td> <td>②理解</td> <td>③分析</td> </tr> <tr> <td>の位置づけ</td> <td>④知識の活用</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>最終課題</td> <td colspan="3"> </td> </tr> <tr> <td>評価</td> <td>知識・技能</td> <td>思考力・判断力・表現力等</td> <td>主体的に学習に取り組む態度</td> </tr> <tr> <td>単元計画</td> <td>時数</td> <td>学習内容・活動</td> <td>① ② ③ ④</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>4</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	課題案				目標	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度	認知システム	①取り出し	②理解	③分析	の位置づけ	④知識の活用			最終課題				評価	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度	単元計画	時数	学習内容・活動	① ② ③ ④		1				2				3				4		
学校名	中学校	学年	組	名																																																																																											
実施期間	年 月 日 ~ 年 月 日 <計 時間>																																																																																														
単元名																																																																																															
生徒観																																																																																															
教材観																																																																																															
指導観																																																																																															
学習指導要領 解説																																																																																															
留意事項																																																																																															
単元の目標																																																																																															
採用教材・文献																																																																																															
課題案																																																																																															
目標	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度																																																																																												
認知システム	①取り出し	②理解	③分析																																																																																												
の位置づけ	④知識の活用																																																																																														
最終課題																																																																																															
評価	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度																																																																																												
単元計画	時数	学習内容・活動	① ② ③ ④																																																																																												
	1																																																																																														
	2																																																																																														
	3																																																																																														
	4																																																																																														

図1 授業設計時に使用した単元計画フォーマット